

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	円滑な議会運営及び活発な議員活動の支援(総合計画体系外)		② 施策番号	0101
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	—			
④ 基本施策〔施策大(節)〕	—			
⑤ 基本的方向〔施策中〕	—			
⑥ 担当部署	⑦ 担当課名			
議会事務局	議会事務局			

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民、市議会議員
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	議会基本条例の趣旨を踏まえ、議会運営の活性化と市民に開かれた分かりやすい議会活動を目的に議会改革を進め、二元代表制の一翼を担う市議会の機能を十分に発揮する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	地方分権の進展や人口減少社会の到来を踏まえ、住民自治の根幹をなす機関として、地域の実情に応じた効果的な議会機能の発揮が求められていることから、議会活性化の方向が顕著になりつつある。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 本会議等傍聴件数 計算式:	人	議会の役割や重要性などの理解並びに議会に対する関心度を測るため。
② 議員提出議案 計算式:	件	議会機能の活性化の度合いを測るため。
③ ウェブサイト閲覧件数 計算式:	件	議会の役割や重要性などの理解並びに議会に対する関心度を測るため。

指標名	単位		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 本会議等傍聴件数	人	目標値	189	234	179	157	160	
		実績値	234	179	157	—	—	
		達成率	123.8%	76.5%	87.7%	—	—	
② 議員提出議案	件	目標値	4	4	4	4	10	
		実績値	10	6	8	—	—	
		達成率	250.0%	150.0%	200.0%	—	—	
③ ウェブサイト閲覧件数	件	目標値	—	—	21,000	21,000	21,000	
		実績値	28,935	20,521	22,228	—	—	
		達成率	—	—	105.8%	—	—	

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	議会運営事業	本会議等傍聴者数	人	179	157	157	109,620	115,961	117,410	A	ア	○
2	議会活動補助事業	議員提出議案	件	6	8	8	5,877	3,331	4,946	A	ア	○
3	議会広報事業	ウェブサイト閲覧件数	件	20,521	22,228	20,268	9,551	10,592	12,554	A	ア	◎
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						125,048	129,884	134,910			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	多様な市民の負託に応えることができる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2〔2〕の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	3指標ともに改選時の平成28年度には、高数値の実績であったが、それ以降は多少の増減はあるものの一定の数値で推移している。 このことから、市民に対し、議会活動の情報公開及び情報発信を積極的かつ継続的に行っていかなければならない。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市議会は、市民の負託に応え、意思決定機関としての責任を果たしているが、今後は、「市民と協働する議会」を目指し、市民の市政への参加を積極的に推進していく必要がある。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2〔3〕を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	「市議会の機能を十分に発揮する」という施策目標を達成するための方策として、議会運営、議員活動補助、並びに議会広報の計3事業の構成及び数は、適正であると判断する。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2〔3〕において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	議会基本条例に記載のとおり、本議会は、「市民の意思を幅広く市政に反映する議会」、「市民に開かれた議会」及び「市民と協働する議会」を目指していることから、市民に対し情報の公開や発信を積極的に行っていく必要があるため、【議会広報事業】を特に重点化しなければならない事業と考える。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・議会からの要請に的確に対応できる事務局の体制づくりが必要となる。 ・議会運営における業務の効率化について、協議が必要となる。 ・市民に分かりやすい開かれた議会運営の進め方について、協議が必要となる。 	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	事務局の機能強化 (風通しの良い職場風土を醸成し、様々な状況に対応できる機動的な組織体制の構築に努める。)
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	昨年度から導入したタブレットの有効活用により、会議資料等のペーパーレス化を積極的に進める。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	議会運営の積極的な情報公開を図り、「議会の見える化」を進める。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	WEBサイト閲覧件数、本議会等傍聴者数について一定数で推移しており、情報公開に向けた取組が適切に行われている。 情報発信による「議会の見える化」やIT導入による事務の効率化への取組を引き続き進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある